

施策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	01040106-15-317
基本事業：	03	生活環境に関する害の減少	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	苦情及び相談件数（騒音・振動、悪臭）		担当課	環境課
	苦情及び相談件数（草木の繁茂等）		担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
外来生物		特定外来生物による被害などについて、広報・SNS等により啓発を行い、生物の多様性の確保、人の生命・身体の保護、農林水産業の健全な発展に寄与する。 特定外来生物の生息状況を調査し、駆除が必要なものについては、駆除の方法の啓発や駆除を行う。 害獣や害虫の駆除方法について情報の提供を行う。 特定外来生物等の通報があった場合には、関係各課と連携して対応しています。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
特定外来生物による被害を防止し、生物多様性を確保する。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
市広報及びSNSによる啓発のための情報発信数	回	4	2	5	5			8
外来生物の捕獲数	件	10	35	5				5
5. コスト								
事業費	計	千円	407	67	446	456		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	336	67	446	456		
一般	千円	71	0	0	0			
正職員人工数	人工	0.4	0.4	0.5				
正職員人件費	千円	3,168	3,091	3,908				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	3,575	3,158	4,354	456			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	< 状況 > 情報発信件数は、前年より2件減少し、外来生物の捕獲数は、前年より25件増加した。 < 原因 > セアカゴケグモの捕獲数が昨年1件だったものが今年29件に増えたため。 < 課題 > 特定外来生物は1つの市町村の区域を越えて侵入・繁殖することが多く、その防除は容易ではない。捕獲や殺処分等を行うにあたっては、業者委託や専用器具の購入などの費用負担や職員の現場対応が必要となってくるため、今後捕獲件数が増えたときにも対応できる体制づくりが必要。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	あり
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
アライグマ生息状況調査の結果を受け、市内で駆除を進めるにあたり、地域住民向けの防除講習会を令和5年3月に開催した。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
外来種による在来種への影響が懸念される。平成17年 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の施行	